

カナック処理で貢献する 

カーボンニュートラル

カナックの表面処理で金型の **ロングライフ** を実現し
CO₂削減 と **資源保護** を目指す

処理を使うことで得られる付帯効果



新たな付加価値



CO₂削減に取り組むパートナー企業になりませんか？

製品のライフサイクル全体でCO₂の排出量を認識する

最近ではサプライチェーン排出量の開示を求める動きが広まってきています。まずは金型の製作から廃棄までのライフサイクルを把握し、『サプライチェーン排出量』を算出することから始めましょう。サプライチェーン排出量算出に必要な資料はWebサイト 環境省「グリーン・バリューチェーンプラットフォーム」に掲載。
(http://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/)

原料調達・製造・物流・販売・廃棄などの一連の流れから発生するCO₂排出量

サプライチェーン排出量

自社の直接排出

Scope1排出量

+

供給電力などの間接排出

Scope2排出量

+

Scope1,2以外の間接排出

Scope3排出量

Scope3 基準の15カテゴリ それぞれで算出

活動量の例

- ◆ 電気の使用量
- ◆ 貨物の輸送量
- ◆ 廃棄物の処理量

活動量

事業者の活動の規模に関する量

×

排出原単価

活動量当たりのCO₂排出量

排出原単価の例

- ◆ 電気1kWh使用あたりのCO₂排出量
- ◆ 貨物の輸送量1トンあたりのCO₂排出量
- ◆ 廃棄物の焼却1tあたりのCO₂排出量

※既存のデータベースから選択可能

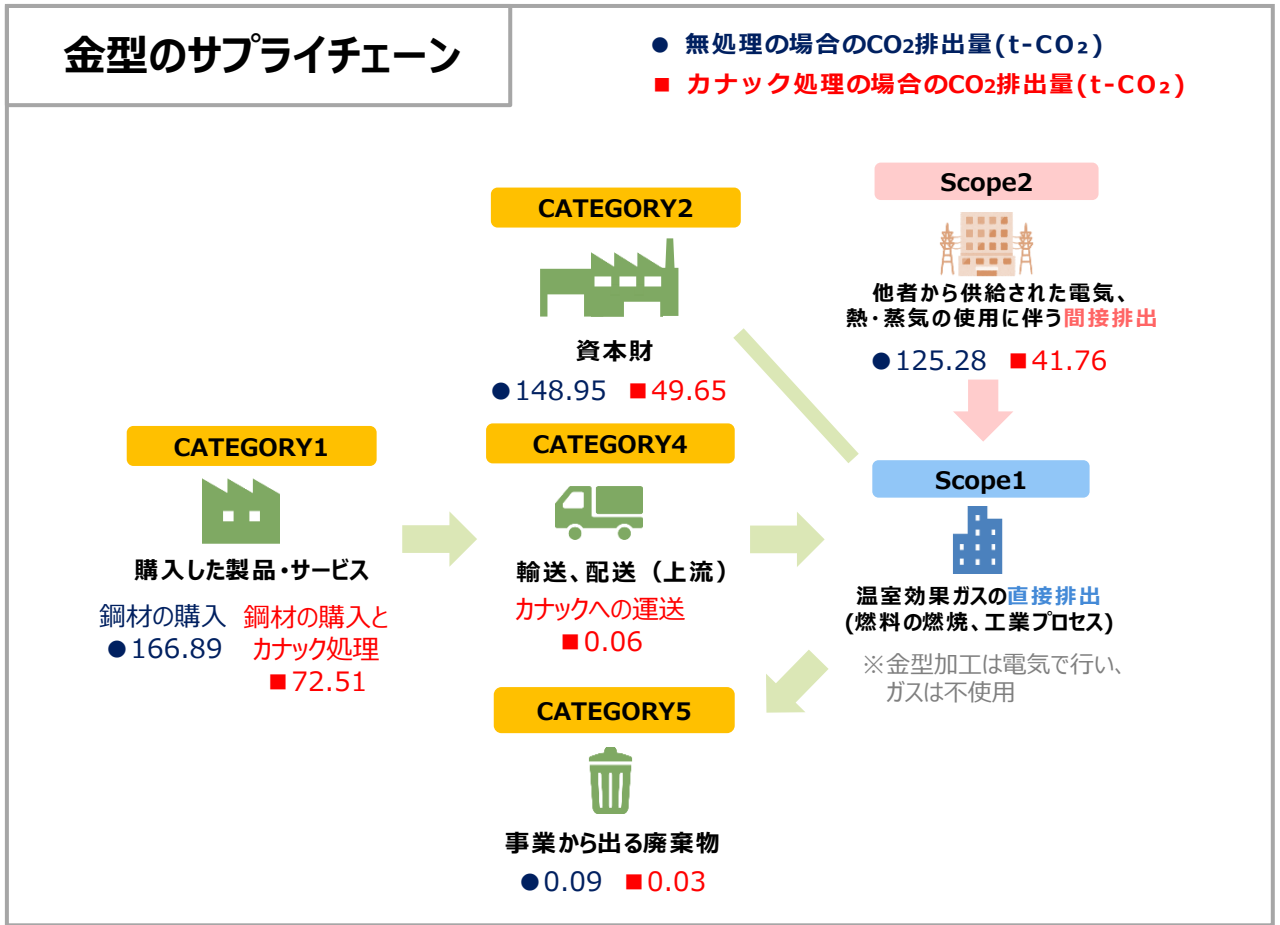
上記のScope1,2,3を合計して自社のCO₂排出量の把握が出来ます。

カナック処理の使用前後で比較をする

カナックでは「製品生産数」を評価いただき、その結果とお客様の「CO₂排出量算出方法」をもとに、CO₂の削減量算出のお手伝いをさせていただいております。

また、カナック処理を利用した際に発生するCO₂排出量につきましても開示・削減に取り組んでいます。

事例 2.2tの金型を1,500万円で資本計上した場合



	無処理	カナック処理
生産本数	64万個	130万個

金型の寿命が
約2倍に

【130万個生産時での比較】



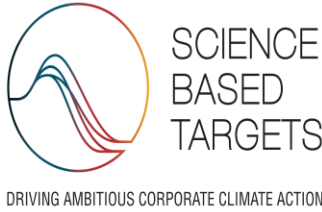
	無処理	カナック処理
金型製作数	3個	1個
CO ₂ 排出量合計	● 441.21 t	■ 164.01 t

CO₂の排出量は
63%削減

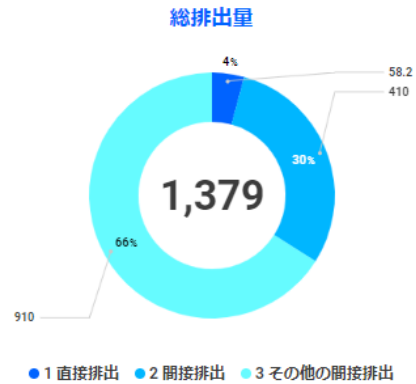
金型の鋼材費、加工にかかる時間・コストも **2型分** 削減

カナックの取り組み

温室効果ガス削減実施に向け SBT(Science Based Targets)認定取得



目標水準： WELL-Bellow 2°C
基準年： 2020年
目標年： 2030年
概要： Scope1とScope2の排出を基準年の25%削減
Scope3の排出量を測定し削減



カーボンニュートラルに向けた沿革

